

# あきた

A-TURN INFORMATION MAGAZINE



# 日

2015

春

vol.68

# 和

## Aターンインタビュー

株式会社UNIGEN 品質統括部 アソシエイト

佐藤 紘子さん

## A-TURN NAVI

Aターン移住相談の現場から

秋田がんばるプロジェクト  
トレイルランを通して地域活性を!

ディスカバー・アキタ  
秋田の伝統野菜・ひろっこ

アイ・バブ・アキタ

「秋田で希望の仕事に出会えるとは思ってもみませんでした。」

Aターン者採用事業所のご紹介  
株式会社UNIGEN

ふるさと秋田は  
居心地がいい!

# AKIITA BIYORI



# A-turn interview

埼玉で医薬部外品の分析業務に携わっていた佐藤さん。  
Aターン登録から1カ月以内で、希望の仕事に出会うことができました。  
そんな彼女の仕事や秋田に対する思いとは？

## What's A-turn?

### Aターンとは？

「親の近くで暮らしたい」、「生まれ育った地元に戻りたい」というUターン希望の方も、「旅行して秋田が好きになった」、「秋田出身の妻に勧められて」というIターン希望の方も、みんな秋田に来てくださとの願いを込め、オールターン (All Turn) の“A”と、秋田 (Akita) の“A”をかけたAターンと総称しています。

「転職は新たなスタートですが、秋田に居るといふことだけで大きな安心感があります。Aターンして本当に良かった。」

Aターンインタビュー  
株式会社UNIGEN  
品質統括部 アソシエイト  
さとう ひろこ  
佐藤 紘子さん (32歳)

## 生まれ育ったふるさとで 自分の好きな仕事ができることに 幸せを感じています。

これまで「Aターン」という言葉すら聞いたことがありませんでした

秋田市御所野に本社・工場を置く株式会社UNIGENは、インフルエンザワクチンの原薬製造を主に行っています。ここで品質統括部のアソシエイトとして働く大仙市生まれの佐藤紘子さんは、大学入学を機に県外へ。群馬大学で応用化学を学び、埼玉の会社に就職しました。

—以前の仕事内容と、秋田に戻ろうと思ったきっかけを教えてください。

「前職では、化粧品やヘアスプレーといった医薬部外品の分析業務に携わっていました。9年間働く中で医薬品に興味を湧き、チャレンジしてみたいと思い転職活動をスタートしました。それが去年の春頃です。親に相談すると、秋田にはAターン希望者を支援する『Aターン登録制度』があることを教わり、転職活動の幅を広げる意味でも登録してみたいです。」

—今の仕事との出会いや、採用に至るまでの経緯を教えてください。

「AターンプラザでUNIGENの存在を知り、受けてみようかと迷っていたところに、偶然にもUNIGENからリクエストが来ました。東北には製薬会社が少ないので、秋田にこんな会社があること自体驚きでしたし、まさか地元で自分のやりたい仕事が見つかるとは思わなかったのが嬉しかったですね。面接前に『頑張って』と背中を押してくれたAターンプラザの担当の方にも、大変感謝しています。」

前職での経験を活かしながら新しい業務にチャレンジしています

—実際に仕事をしてみていかがですか？

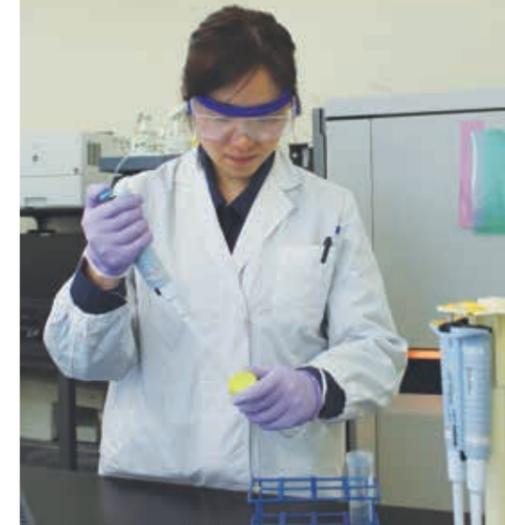
「インフルエンザワクチンのタンパク質の構造解析を担当しています。前職で携わってきた分野は『化学』でしたが、今は『生物』。まだ知らないことが多く、今までの経験を活かしながら、新しい知識を身につけるようにしています。この仕事は、国のワクチン開発に貢献する新事業。大きなやりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。」

—Aターン前後で生活面に変化はありましたか？

「埼玉で暮らしていた頃は交通手段が電車だったため、休日は東京や横浜へ行きウインドショッピングや食べ歩きを楽しんでいました。反対に、秋田は車社会。ペーパードライバーの私にはまだ遠出はできないので、近所のショッピングセンターに出かけることが多いです。秋田ならではの食材を購入して、料理して、秋田の地酒と一緒に味わう。これが一番の楽しみです。今後は仕事とプライベートを両立させて、仕事も秋田も楽しめたらいいですね。」

—最後に、Aターンを検討されている方へアドバイスををお願いします。

「住み慣れたふるさとへ戻り、地元企業に貢献できることが、Aターンの醍醐味だと思います。秋田には地元で根付いた企業はもちろん、新しい企業もたくさんあります。自分一人で求人情報を見つけることは難しいので、まずはAターン登録をして選択肢を広げてみてはいかがでしょうか。」



創立5年の若い会社なので、職場はいつも活気にあふれているという。「良い意味で上下関係がなく、上司でも『さん』付けで話します。一人ひとりの意見を尊重してくれますので、レスポンスが早いことが魅力だと思います」と佐藤さん。直属の上司にあたる正木さんは「佐藤さんはいつも明るく、まだ5ヵ月なのに会社での存在感は抜群。皆のムードメーカーです(笑)」。



## Message

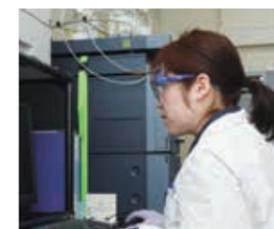
品質統括部 部長  
博士(農学)

正木 俊平さん

**技術力はもちろん、人間性も大事。一緒に楽しく仕事ができる人を求めています。**

佐藤さんが入社されて5ヵ月になります。入社当初は分野の違う仕事に戸惑っているようでしたが、今は着々と結果を出してくれています。弊社のような若い会社にとって経験者は貴重な存在。佐藤さんにはこれからもっと活躍してくれることを期待しています。求める人材は、自分の意見をはっきりと言える人。人体に入る医薬品を製造していますので、ミスをした場合は隠さず言ってもらわないと一大事です。また、岐阜の工場へ配属になる場合もあります。Aターンの際はご家族と十分話し合おうと、自分のやりたい仕事ができる会社を選んでいただきたいと思っています。

「秋田に戻って5ヵ月ですが、ふるさとに帰って来たという実感が日に日に強くなっています」と、今の心境を話す佐藤さん。「まさかここまで気持ちが落ち着くものだとは思いませんでした。秋田人の県民性でしょうか、会う人会う人、少し話だけでも心がほっこりします。水や気候も自分に合っていると感じます。そんな場所で自分のやりたい仕事ができるというのは、本当に恵まれていると思います。」



NO.008

株式会社  
UNIGEN

Recommend Company

# Aターン者採用事業所のご紹介

株式会社UNIGENは、次世代製造技術によるバイオ医薬品製造を担う会社です。

バイオベンチャーUMNファーマと大手エンジニアリング企業IHIの共同出資によって2010年に設立されました。親会社UMNファーマがBEVS（昆虫細胞系を用いたタンパク質発現技術）による細胞培養ワクチンの日本における研究・開発・製造権を獲得し、最先端技術によるワクチン製造に取り組んでいます。



## 【本社・秋田工場】

2011年4月より秋田市にて稼働している延床面積約3,000㎡のGMP対応可能な生産技術研究施設です。当社の本社であり業務推進拠点であると同時に、当社グループの生産技術開発拠点として活動しています。

600Lスケール培養槽3基を有し、ワクチン製造においては具体的な生産技術の開発を行い、受託製造においては、各種試験・製造検討・処方検討から治験薬製造までをここで行うことができます。

## 【岐阜工場】

2013年5月に竣工したバイオ医薬品原薬実生産施設です。延床面積約14,000㎡の鉄骨造5階建施設には、21,000Lスケール培養槽を最大4基設置する予定で、世界最大級のバイオ医薬品生産施設となります。



DATA

株式会社UNIGEN

本社・秋田工場 / 〒010-1415 秋田市御所野湯本4-2-3  
TEL.018-892-6880  
FAX.018-892-6881  
<https://www.unigen-bio.com/>

UNIGEN

A-TURN NAVI

# Aターン移住相談の現場から

Aターン就職と切っても切り離せないのが「移住」の問題。

秋田県出身者でも、何年も離れていると秋田の現状はわからない方も多いはず。

今回は、そんな方の不安を解消する「移住相談員」の進藤さんに移住相談の現状についてお話を伺いました。

Q どのような相談が多いですか？



Answer

移住相談をされる方の7割が秋田県出身者です。Aターンしたい理由は、「故郷の親が心配」「結婚相手が秋田出身」といった家族に関すること、「東京での子育てが不安」といった生活環境への不安、「地域に貢献する仕事がしたい」といった秋田への強い想いなど多岐にわたります。また、「実家や親戚が農家で、就農に関心がある」「農業の経験はないがチャレンジしてみたい」といった就農に関する相談も寄せられています。

Q 最近の移住の傾向は？

Answer

最近の全国的な傾向は、「30代子育て世代」が中心と言われています。秋田も20代～40代が8割以上を占めています。



Q 何年も秋田から離れていたことで、再び地域に溶け込めるか不安な方も多いかと思うのですが、秋田で仕事以外で人と関わるツールはありますか？



Answer

相談窓口では、秋田で活躍されている先輩移住者さんを紹介することもあります。先輩移住者さんとAターン希望者さんとのコラボが生まれ、秋田を元気にしてほしいと思っています。また、NPO法人秋田移住定住総合支援センターでは、Aターンされた方々のネットワークづくりをサポートする交流会なども行っていますので、ぜひご参加ください。

Q まだ住む地域を決めていない方へのアドバイスや、住宅補助制度の相談にも対応していますか？

Answer

住宅リフォームの補助や空き家バンクの物件紹介など県・市町村による移住支援メニューをご紹介しますので、お気軽にお問い合わせください。



Q 移住相談員さんから見た「秋田暮らしの魅力」とは？



Answer

春夏秋冬がハッキリしており、また、自然や食にも恵まれた「日本らしい日本」であることが魅力だと思います。

Q 秋田に移住しようとしている方へのメッセージをお願いします。



「何をしたいのか、どう暮らしたいか」を考えていくことが大切だと思います。「秋田には仕事がない」という声を聞くことがありますが、当然ながら都会と秋田では経済の規模に違いがあり、東京と同じような待遇の仕事を見つけることは簡単ではないと思います。一方、ゆったりとした時の中で過ごしたり、家族との時間を大切にしたりするなど、秋田だからこそ実現できることもあるのではないのでしょうか。それらを天秤にかけ、ご家族とも十分にコミュニケーションを図りながら、Aターンをご検討いただければと思います。

移住相談員に会いに行こう！

東京都千代田区有楽町 東京交通会館5F「ふるさと回帰支援センター」内  
「あきたで暮らそう!Aターンサポートセンター」  
(相談日・時間) (4月1日～) 火曜日～日曜日 10:00～18:00  
(休: 毎週月曜、祝祭日、夏季(8/13～16)、年末年始(12/26～1/3))

# 秋田がんばるプロジェクト

NO.008



## トレイルランを通して地域活性を!

山を楽しみながら走る新しいスポーツとして愛好者が増えている「トレイルランニング」。昨年11月、秋田で初のトレイルランの大会が開催された。ただ走るだけではなく、秋田の食や観光も満喫できるイベント。その詳細を実行委員長の船木淳さんに伺った。

### 秋田の魅力を満喫してもらうためフェスティバル形式に

「トレイルランの魅力は、子どもの頃に自然の中で泥んこになって遊んだときのワクワク感が蘇ること。感性が研ぎすまされ、舗装された道路を走るときとは全く違う感覚を味わえます。」

そう話すのは、『Akita Trail Run Festival』の実行委員長、船木淳さん。「秋田には素晴らしい自然が沢山あります。トレイルランを通して、その魅力を多くの人に伝えたいと思いました。」そんな思いから、仲間たちと実行委員会を結成。昨年11月に第1回を開催するに至った。場所は秋田を代表する山のひとつ、太平山。25.2kmのロングコース・10.8kmのミドルコースのほかに、子どもも参加できるよう4.1kmのショートコースも用意。ゴール地点には飲食ブースや販売ブースなどを設け、待っている家族も楽しめるようなフェスティバルイベントにした。「フェス形式にしたのは、秋田の食や温泉、自然などの地域資源・観光資源を多くの人に知ってもらいたいという思いから。山の

自然環境にも配慮し、イベント翌日には『まんならめグリーンフェスティバル』と題した、全コース内の清掃活動も行いました。」

### 事前に山の厳しさやマナーを説明安全面や自然保護にも配慮

参加者は250人。うち半分以上が初心者だったにも関わらず、98%が完走したという。「山の中を走るトレイルランは、いわば『速く移動する登山者』のようなもの。遭難や怪我の危険を考え、安全面には最大限配慮しました。大会前日に山の基本的なマナーやルール、服装・携行品についての説明会を実施。大会時にはスタッフやドクターを各地点に配置して常時本部と無線20台で情報交換を行い、マーシャルやスイーパーと呼ばれる安全確認のスタッフが参加者を励ましなが一緒に走りました。」

参加者からは『マラソン大会とは違う和やかな雰囲気最高だった』『どんな景色が現れるのかワクワクしながら走ることができた』『親子で楽しめるショートコースがあった』『マルシェのおかげで待っている間も飽きずに楽しめた』といった声

ただ走るだけではなく、ふと足を止めて途中の景色を眺めたり、木蔭で休憩して栄養補給したり。まるで冒険の旅のように進んでいけることがトレイルランの醍醐味。自然保護の観点から、動植物への影響が懸念される区間は歩行区間とし、走行禁止としている。

が届いているという。

### 第2回大会や講習会も実施今後ますます発展させていきたい

今年10月には第2回を開催予定。さらに、これからトレイルランを始める人のための初心者講習会も行う予定だと、船木さんは話す。

「私たち実行委員会メンバーは、大会運営のほかに、山の保全活動や清掃活動も積極的に行っています。これらの活動を通じて、秋田の魅力や自然保護の大切さを沢山のの人に伝えていきたいと思っています。」



「競い合う」のではなく「分かち合う」というのが今回の秋田での大会コンセプト。ランナー同士がお互いの声を掛け合い、すれ違いポイントでは大人も子どももハイタッチをして励まし合いながらゴールを目指す。



実行委員長の船木さん(中央)と、実行委員の友友さん(左)、林さん(右)。



### 船木 淳さん FUNAKI JUN

ふなき じゅん○秋田市出身、秋田市在住。Akita Trail Run Festival実行委員長。数々の大会に出場、海外でのレース経験も持つ。  
https://www.facebook.com/ATRF.AKITA



ゴール地点には飲食ブースと販売ブースのほかに、スポーツ・ライブ・無料体験ブースを設け、多くの家族連れで賑わった。

山の中を走っていると感性が研ぎすまされる。子どもの頃に帰ったような感覚です。

## DISCOVER AKITA

ディスカバー・アキタ

アキタになんて何にもないでしょー、なんていわせない！都会に負けない、アキタならではのカルチャーをご紹介します。

VOL.008

【今回の再発見】

秋田の伝統野菜 ひろっこ



早春の雪深き  
土からの恵み  
「ひろっこ」

「ひろっこ」の語源は、「蒜(ユリ科のネギなどの古語)」に、小さいもの愛称として秋田弁で「こ」を付けたとされている。

日本には、その地方ならではの『環境』『土壌』『伝統』があってこそ生まれる「伝統野菜」が存在する。ここ秋田県にも何十年、何百年と地域に根付き、人と共存してきた伝統野菜があるのをご存知だろうか。

秋田で伝統野菜と呼ばれる条件は、『昭和30年代以前から県内で栽培されていたもの』『地名、人名がついているなど、県に由来しているもの』『現在でも種子や苗があり、生産物が手に入るも

の』とされている。今回は、30種類ある秋田の伝統野菜の中から「ひろっこ」を紹介しよう。

ひろっこは、1月頃から湯沢市などより出回りはじめ、1m以上の雪の下から掘り出されるアサツキの若芽。雪で覆われている土は凍ることなく、地温が保たれる。東北の他県でも食べられているが秋田では黄白色でより白っぽく、曲がっている細身のが好まれる。風味はねぎに似ているが、ほんのり甘い白い部分に

特徴があり、薬味としてではなく和え物や汁物などの食材として親しまれてきた。秋田では雪融け後に天然のひろっこを穫って食する地域も多く、『ひろっこ穫り』という春の楽しみにもなっている。季節に触れ、その土地の旬のものを食す。その喜びこそが人としての本質ではないだろうか。

日本、そして世界に誇れる秋田の伝統野菜。ぜひお試しあれ。

※参照:あきた郷土作物研究会HP(<http://www.akikyo.net/>)

## I B A B U A K I T A アイバブアキタ

母子像、それは人類にとってあまねく永遠のテーマ。究極のリラックス! 秋田で子育てのすすめです。



### 第5回①:用意はいい? 出発進行~!

しょうき(3歳)。5月12日。秋田市生まれ。ひとりっ子ならではの自由奔放さを出しながら、保育園では自分より小さな子に「かみしばい、そこはあまり見えないからココ空いてるよ! おいで!」というお兄さんぶりも!  
●私も主人も秋田で生まれ育ったので、同じ環境で育てられるのは幸せです。秋田でのびのび育て、素敵な男の子になってほしいなあ。(母)



### 第5回②:笑って、転んで、よく食べて。

ひより(1歳10ヶ月)計り知れない食欲の持ち主。お母さんにべったりですが、最近父親の認識ようやくあり。年が一つ上のヴァル(ラブラドル/2歳)に突き飛ばされてもなんのその。元気いっぱい今日もゆく!  
●それぞれの季節を感じ、色々なことを体感して欲しいですね。のびのび育っている姿を見ると東京から帰ってきて良かったと思います。(父)

秋田県ならではの子育て支援があります。

幼稚園や保育園での保育料について、秋田県と市町村が協力し、全国トップレベルの助成内容で支援しています(助成対象は一定の所得額以下のご家庭に限ります)。

# Aターン年間スケジュール

- 6月 情報誌「あきた日和 夏号 vol.69」発行  
登録者情報の配信（Aターン登録企業へ）
- 7月 就職面接会（東京会場）
- 8月 就職相談会（秋田会場）
- 9月 情報誌「あきた日和 秋号 vol.70」発行  
登録者情報の配信（Aターン登録企業へ）
- 11月 登録者情報の配信（Aターン登録企業へ）
- 12月 情報誌「あきた日和 冬号 vol.71」発行  
登録内容確認調査（再調査）※すべての登録者を対象に実施します
- 1月 就職相談会（秋田会場）  
就職面接会（東京会場）
- 2月 登録者情報の配信（Aターン登録企業へ）
- 3月 情報誌「あきた日和 春号 vol.72」発行

## 通年

- ・ **Aターンに関する相談**  
Aターン就職相談をはじめとした定住にかかわる各種相談に応じています。
- ・ **Aターン求人情報の提供**  
当財団ホームページから随時閲覧できるほか、希望する方には新着求人情報を毎週金曜日にメールでも配信しています。
- ・ **企業と人材のマッチング**  
求人開拓、人材紹介と職業紹介による県内企業と登録者との仲介を行います。
- ・ **リクエスト制度**  
企業及び登録者からの面接リクエストをお受けします。
- ・ **Aターン企業面接交通費助成金**  
企業との採用面接にかかる交通費を助成します。

※スケジュール内容、時期は変更になる場合もあります。なお、相談会等イベントの開催内容など、詳細につきましてはホームページに随時掲載します。

## 有楽町の相談窓口がさらにパワーアップ!!

土曜日にご利用いただいている有楽町の相談窓口が4月から平日もご利用いただけます。  
ますます便利になった相談窓口をぜひご利用ください!!

### あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター

〈相談日・相談時間〉 就職相談（「Aターンプラザ秋田」職員による相談時間）**火曜日～土曜日** 12:15～18:00 ※平日の就職相談は4月7日（火）開始となります。  
移住相談（あきた移住相談員による相談時間）**火曜日～日曜日** 10:00～18:00

## 【Aターン相談窓口のご案内】

### ●Aターンプラザ秋田

相談日 月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始は除く）  
相談時間 9:00～17:45  
場所 〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館7F（秋田県東京事務所内）  
アクセス 東京メトロ  
半蔵門線/南北線/有楽町線  
〈永田町〉下車 出口5  
★地下道にて都道府県会館B11に、直接入れます。  
連絡先 0120-122-255 FAX: 03-5212-9116  
email: a-plaza@coral.broba.cc



### 〈その他の県外窓口〉



●北東北三県 名古屋合同事務所  
〒460-0008  
名古屋市中区栄四丁目1-1中目ビル4F  
TEL: 052-252-2412



●北東北三県 大阪合同事務所  
〒530-0001  
大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9F  
TEL: 06-6341-7897

### ●あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター

〈就職相談〉  
相談日 火曜日～土曜日（祝祭日・年末年始は除く）  
相談時間 12:15～18:00  
〈移住相談〉  
相談日 火曜日～日曜日（祝祭日・年末年始は除く）  
相談時間 10:00～18:00  
場所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館5F（ふるさと回帰支援センター内）  
アクセス JR山手線・京浜東北線 有楽町駅  
〈京橋口・中央口（銀座側）〉下車  
徒歩1分  
連絡先 TEL: 03-6273-4401（呼出）



### Aターン登録についてのお願い

住所等の登録内容変更のほか、Aターンしたため登録を取り消したい場合には、電話・メール（info@furusato-teiju.jp）でご連絡ください。特に住所が変わった場合には、情報がお手元に届かなくなる場合もありますので速やかにご連絡ください。郵便物が届かない方には、電話でご連絡させていただく場合がございます。